

市立加西病院だより



「やさしい病院への方策を具現化していこう」

目次

- ・ 事業管理者兼病院長挨拶 P.2
- ・ 新任医師及び研修医の紹介 P.3
- ・ 看護部長新任のごあいさつ P.4
- ・ 看護部職場紹介 P.5
- ・ 中央放射線科から P.6
- ・ 医療介護総合支援センターからのご案内 P.7
- ・ 訪問看護ステーション紹介 P.8
- ・ 情報トピックス P.9
- ・ 加西病院サポーターの会だより . . . P.10・P.11
- ・ 外来診察担当表 P.12

加西病院外科と基幹病院との連携について

病院事業管理者 兼 院長 生田 肇

病院老朽化による新病院建て替え問題に関しては、昨年度の市長選挙での議論を踏まえて、現地建て替えの方針から、用地を別場所にもとめて、2030年度の開院を目標とすることになりました。加西市の人口の推移、医療環境の変化により、新病院では、病床数は現状の199床から136床前後とし、段階的にダウンサイジングしていきます。病院機能では加西市唯一の急性期としての役割から回復期としての役割に重点を置いていきます。このような病院機能の変化のなかで医師不足がおこっています。一部の診療科では常勤医師が不在となり、非常勤医師に来ていただき対応しています。また、内科、外科においても常勤医師が減少しており、大きな問題となっています。

今回は外科（おなかの外科）について話をします。今年度、外科医が私一人となりました。もちろん、この状況をよしとせず、外科医の獲得をめざしますが、現環境下での外科疾患対応のために、基幹病院との連携を強化していきます。基幹病院である北播磨総合医療センター、加古川中央市民病院、はりま姫路総合医療センターとはこの4年間で病院間の連携協定が結ばれました。外科疾患で当院が対応できない場合、それぞれの患者さんの状況に応じて、緊急、予約を含めて紹介ができています。また、治療後の回復期入院、外来フォローの役割を当院が担っていきます（図1）。

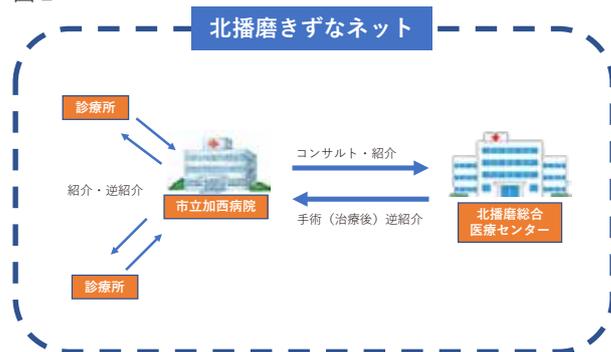


図1 基幹病院との連携では、緊急・予約の両方で患者さんの紹介、逆紹介を行っていく。

中でも、北播磨総合医療センターの外科とは北播磨地域の“きずなネット”（病病連携、病診連携のための画像、検査結果閲覧システム）の機能をフル活用しています。具体的には、当院にいられた、緊急、準緊急手術が必要となる場合、患者さんの承諾のもと、きずなネットに接続して、北播磨総合医療センターの外科医師と議論、コンサルトしていきます。結果的に当院で手術になる場合もありますが、転院となることもあります。良い点は、転院前に画像、検査結果を閲覧できることで、手術等の具体的な方針、日程が確保しやすい点、また、転院までの間に手術前に必要な処置、薬剤の管理等を事前に始めることができる点などがあります。北播磨総合医療センターで手術を行っていただいた後、当院では引き続き、回復期の病状を見ていくこともできます（図2）。



図2



北播磨総合医療センターとは“きずなネット”を活用し、早い段階でコンサルト、手術日程の確保、術前処置、術前薬剤管理等を行っていく。

外科という一診療科のことですが、病院全体で連携強化することにより、病院機能の役割分担という今後の地域医療を考えるうえで、欠かせない病病連携とされます。

新任医師・研修医の紹介

医師

内科
医員

坂田 悟郎



- ①呼吸器内科専攻医
- ②温泉、旅行を計画すること、美味しいお店を見つけること
- ③謙虚・素直・元気
- ④地域の医療を担っていく病院だと思います。自分も過去に受診したことがあり、働けることをうれしく思っています。
- ⑥まだまだ慣れないこと、わからないことが多くあるのでいろいろ質問すると思います。しっかりとコミュニケーションを取っていきたく思いますのでよろしくをお願いします。

医師

整形外科
医員

横田 和斗



- ①一般整形、外傷
- ②ドライブ
- ③患者さんと信頼関係が築けるよう心がけています。
- ④穏やかで動きやすい印象です。
- ⑥本年度よりお世話になっています。地域医療に貢献できるよう努めていきますので、よろしくをお願いします。

医師

整形外科
医員

山下 凌平



- ①これから身につけていきます。
- ②読書、スポーツ
- ③継続は力なり
- ④他科の垣根のない動きやすい病院
- ⑥明るく元気に頑張ります。

臨床研修医

伊藤 宙



- ②ドライブ、スポーツ観戦
- ③ケセラセラ
- ⑤医学の最新の動向や治療法について常に学び続け、患者様のもつ病気を治すのはもちろん、患者様の心に寄り添える医師を目指します。
- ⑥研修医として勤務を始めてまだまだ分からないことばかりで悪戦苦闘しております。それと同時に先輩方の手厚いご指導により日々成長を実感しております。できるだけ早く一人前になれるように努力を怠らず精進してまいりますのでよろしくお願いたします。

臨床研修医

江見 辰徳



- ②ジョギング、卓球、野球
- ③雨垂れ石を穿つ
- ⑤内科志望ではありますが、診療科を問わず知識や技術を学んでいきたいと思っております。多職種と連携して、患者様に少しでも寄り添えるように頑張ります。
- ⑥社会人経験を経て医学部を卒業し、初期研修医として4月から市立加西病院に入職しました。内科と救急外来に入らせて頂き、基本的業務ですら手間取るなど、未熟であることを日々痛感しております。そのような中、医師をはじめ多くの方々が温かく丁寧に指導して下さいありがとうございます。知識や技術を向上させ、一日でも早く戦力となるよう精進して参ります。至らない点多々ございますが、今後ともよろしくお願いたします。

- ①得意とする分野
- ②趣味・特技
- ③座右の銘・信念・モットー
- ④加西病院の印象は？
- ⑤どのような医師を目指したいか
- ⑥自己PR等



新任のごあいさつ 患者さんが笑顔になる病院を目指して

看護部長 長江 菜穂美

令和6年4月から看護部長の大任を拝命しました。どうぞよろしくお願いいたします。病院だよりをお借りし、ごあいさつさせていただきます。

私は加西病院に就職してから30年以上働いています。小児科、産婦人科、眼科、整形外科、神経内科、一般内科、循環器内科、泌尿器科の病棟で働き、外来の経験もさせていただきました。看護部の教育担当者をしながら、コロナ禍では感染病棟も経験しました。コロナ感染症では、誰もが初めて体験することの連続でしたが、職員が一丸となり頑張ったことや地域の皆様の協力や励ましで、今日までやってこられました。

コロナ禍が明け、世間はコロナ前の生活を取り戻しています。しかし病院内ではマスクとアルコール消毒による手指衛生、フェイスシールドの着用がまだまだ必要な状況です。面会の予約は5月よりなくなっていますが、病院ではマスク着用など協力を引き続きよろしくお願いいたします。

日本は今、少子高齢社会を突き進んでおり、生産年齢人口は減少の一途をたどり経済や財政へ大きな影響を与えています。地域の中でも医療者の確保困難が問題となり、その対策が必要となってきました。医療においては地域包括ケアシステムの中で医療機能を明確にして協力体制を整え、地域全体で地域の医療を支えていくことが必要となっています。加西病院は近隣の急性期病院である、北播磨総合医療センターや加古川中央市民病院、はりま姫路総合医療センターと連携しています。高齢者の入院加療が必要な急性期医療と一部の急性期医療は当院でも担いますが、主な急性期の疾患は近隣の急性期病院と連携していきます。また、高齢者は入院期間が短い場合、急性期病院から直接在宅へ帰ることが難しい場合があります。その場合には在宅復帰を目指して、もう少し入院期間が必要になり、回復期の役割を果たす病院が必要になります。その回復期の役割も当院は担っていきます。さらに日常生活

の中で入院して治療した方が早く回復する場合などは当院で入院加療して元の生活に早く戻ってもらえるように入院医療も提供します。そんな「おうちへ帰るための病院」として、在宅支援者とも連携して切れ目のない医療を提供していきたいと考えています。加西病院は新しい場所で再出発することが決まりました。新しい病院の建設と共に、地域包括ケアシステムの中で切れ目のない医療を提供し、最期まで加西市で安心して生活してもらうために地域に密着した病院になりたいと考えています。

今年度、看護部は『尊厳ある看護の実践で、患者さんが笑顔になる看護をしよう』を目標に取り組んでいます。加西病院の役割は患者さんを生活の場に戻れるように支援することです。入院しても患者さんやご家族が笑顔で過ごすことができるよう丁寧で優しい看護を実践し、多職種と協力しながら、患者さんがもとの生活に戻れるように支援をしたいと考えています。看護部は現在看護師と介護福祉士、看護助手が協働して患者さんの入院生活を支えています。さらに入院中から退院後の生活を見据えて、治療においては医師と、日常生活動作が維持できるようにリハビリテーション科と、口腔ケアを歯科衛生士と、少しでも口から栄養がとれるように栄養科となど、多職種とも連携し、看護部だけでなく全職員で患者さんを笑顔にできるように力を尽くしたいと思います。

加西市の医療も変化していきます。この地域で暮らす私たちが、年をとっても一人でも、自身の居たい場所で最期まで過ごせるように、加西病院は切れ目のない医療を実践します。そして「おうちへ帰るための病院」として、患者さんが笑顔になる看護・医療の提供をしていきたいと思っています。

加西市の医療も変化していきます。この地域で暮らす私たちが、年をとっても一人でも、自身の居たい場所で最期まで過ごせるように、加西病院は切れ目のない医療を実践します。そして「おうちへ帰るための病院」として、患者さんが笑顔になる看護・医療の提供をしていきたいと思っています。



看護部職場紹介 (外来・中材手術室・放射線科)

外来・中央手術室課長 高井 範子

2020年1月に中材手術室と放射線科は合併し、今年さらに外来と中材手術室・放射線科が合併して一つの部署になりました。それぞれの部署の専門性が高く、幅広い知識や技術が要求されます。そのため、今年度は各部署の専門性は保ちつつ、安全でより良い看護を提供し、患者さんやご家族が笑顔になる看護を目指し一步一步成長していきたいと思っています。今回はそれぞれの部署の取り組みについて紹介します。

外来部門

外来は13の診療科と中央処置室、専門処置室、救急外来があります。患者さんやそのご家族と最初に接する部門で、「病院の顔」だと思っています。疾病を持ちながら地域で療養・社会生活を営む患者さんやそのご家族に対し、安全で安心・信頼される医療を目指して院内・院外問わずあらゆる部門と連携し支援しています。

病棟のように患者さんと長くかかわることはできませんが、その限られた時間で、患者さんに必要な支援が的確に行えるように努力しています。また、退院された後に引き続き支援を必要とする患者さんが安心して社会生活に戻っていただけるよう病棟から情報を引き継いで看護計画を立て、必要な看護が継続できるように取り組んでいます。



中材手術室部門

手術室は4室あり、6科の手術を行っています。患者さんにとって手術は一生に一度あるかないかの大きなイベントです。いろいろな不安を抱え手術を受けられる患者さんに寄り添い、安全・安心・安楽に手術が受けられるようにすることが手術室看護師の務めです。

受け持ち看護師は、手術前から患者さんの情報を把握し、その患者さんにあった看護計画を立てます。手術前に患者さんを訪問し全身状態の確認や不安の有無などを確認します。手術前から関わることで不安の軽減に努めています。手術室入室時には患者さん



の好きな音楽を流し、まず枕の高さや膝下の枕の高さ調節など、苦痛なく手術を受けるために態勢を整えることから始まります。手術室を退室するまでの間、患者さんにとって最適な状態で手術を受けていただけるように細やかな援助を行っています。

放射線科部門

放射線科は、主に内視鏡検査や心臓カテーテル検査の介助を行っています。予定の心臓カテーテル検査・治療は、定期的に医師・放射線技師・臨床工学技士とともにカンファレンスを行い、患者さんの治療方法を共有し、検査や治療が安全かつスムーズに行えるように準備し、患者さんの負担が最小限になるように努めています。



内視鏡検査や心臓カテーテル検査は緊急で行われることもありますが、緊急であっても患者さんが安全に安心して検査を受けてもらえるように、患者さんに寄り添い、状況説明や全身状態の観察などを行っています。

3部署とも限られた時間でのかわりですが、その場面で患者さんに的確な看護が行えるように知識と技術向上のために毎月いろいろなテーマの勉強会を行っています。また、行った看護がそれでよかったのかなど疑問に感じるときは、看護の振り返りを行い、より良い看護につなげようと意見交換を行っています。

私たちは患者さんやご家族が笑顔になる看護を行えるよう思いを汲み取り、寄り添い、幅広い知識と技術の習得を目指し、成長できるように日々努力しています。

そしてみなさまの笑顔が私たちの活力になります。私たちの看護でみなさまの笑顔が増えるような部署を目指します。



中央放射線科から 核医学 (RI) 装置 & MRI 装置が新しくなりました

中央放射線科 副科長 岩崎 訓典

<核医学 (ラジオアイソトープ: RI) 装置> 【GEヘルスケア社製『NM830』】

2023年1月に新規装置に更新致しました。核医学検査は、微量の放射線(γ線)を放出する医薬品を体内に投与し、標的となる臓器から放出されるγ線を専用の検出器(カメラ)で捕え、薬品の分布を画像化し、その体内動態から臓器の機能等を調べる検査です。

新装置『NM830』ではγ線の信号の増幅部が小型化された為、従来の装置よりも患者様に近づく検出器部分が薄くなりました。検出器が薄くなることで、圧迫感を軽減することが期待できます。この検出器は、電気的ノイズを減らした設計の為、従来よりも高い分解能(鮮明な画像)を持ちます。また、体内か



ら放出されるγ線は、さまざまな方向から検出器に入ってくるため、画像にボケが出てしまいます。これを改善するために、観察したい方向からのγ線のみ通過させるコリメーターという部品があり、このコリメーターも新タイプのもので導入されました。画像分解能は維持されたままで、感度は大幅にアップしました。画像のコントラスト(濃淡)を向上させる処理である「Clarity2D」の組み合わせにより、スキャン時間の短縮と病変抽出能の改善を実現しています。また、収集したデータを処理する装置には、「Evolution for Bone(骨等の検査に使用)」や「Evolution for Cardiac(心筋等の検査に使用)」等の新たな画像再構成手法で、分解能、信号ノイズ比が改善しました。

< MRI(1.5T) 装置 > 【SIEMENSヘルスケア社製『MAGNETOM Altea』】

2024年2月に新規装置に更新致しました。MRI検査はMagnetic Resonance Imagingの略で日本語では磁気共鳴画像法といいます。強い磁石と電波を利用して体内の水(水素原子核)の挙動を画像化する検査法です。あらゆる断面が容易に観察でき、いろいろなコントラスト(濃淡)情報が得られ、造影剤を使用せずに血管走行や血流の把握ができるなどの利点があります。その反面、検査時間が長い、動きに弱い、騒音や密閉感があるなどの欠点もあります。



新装置『MAGNETOM Altea』ではAI技術(Deep Resolve)を搭載しており、先進的なMR画像再構成とノイズ除去技術を用いて、高分解能(鮮明な画像)を高速撮影(短時間)で得られるようになりました。また従来のMRI装置と比べ、マグネットの開口部は大きく、長さは短くなっている為、開放的な環境でより楽な体位で安心して検査をお受けいただけるシステムとなっています。検査時に発生する音も従来よりも静かに撮影することが可能になっており、心理的負担を軽減するとともに、音による体動のリスクや検査中止のリスクの低減にも有効です。



医療介護総合支援センターからのご案内

医療介護総合支援センター 地域医療室長 神田 綾

医療介護総合支援センターは、『入退院支援室』『地域医療室』『医療介護連携相談室』『入院生活支援室』の体制で運用しています。今年の4月から、医療介護総合支援センター看護師が2名増員となり、医師1名・看護師9名・社会福祉士3名・歯科衛生士2名・事務員6名となりました。ますます地域のニーズに即した医療・看護の提供に努め、診療所のかかりつけ医やケアマネジャー、施設の方との連携を密にし、地域の皆さんが安心して療養生活が送れるように支援していきます。

『在宅療養を支えるため入院相談を行っています』

当院では、在宅療養されている患者さまのご家族を支援するための入院相談を行っています。「在宅医療を支えるための入院」とは主に、吸引や注射など、医療管理が必要な方が在宅で療養されており、介護者の事情（介護が困難になった場合、介護に疲れを感じた際等）により介護力の限界を超え、介護不足となることを予防するために「在宅医療を支えるための入院」として、当病院で短期入院できるしくみです。

【対象となる患者さま】

- 難病やがんなどで重介護が必要な方を介護されているご家族が、休息を必要とされる場合
- 現行のサービスでは在宅生活が難しく、身体機能の評価などを含め在宅サービスの見直しが必要となる場合
- 吸引、インスリン注射などの医療処置が加わり、手技や介護指導などが必要となる場合

※ご自宅に退院される方が利用できます。1回の入院期間は概ね1～2週間以内となります。



◆直接お申し込みができるのは、「かかりつけ医」「訪問看護ステーション」「ケアマネジャー」の在宅支援者となります。ご本人・ご家族さまは、まずケアマネジャー等在宅支援者にご相談下さい。

◆ご相談後、入院調整に少しお時間頂きます(申込日から翌日以降、平日の入院調整日となります旨をご了承下さい)。

【ご予約・お問い合わせ先】

市立加西病院 医療介護総合支援センター 地域医療室

TEL(0790)42-2200(代) FAX(0790)42-5365(直) 受付時間：平日 8：30～17：00

訪問看護ステーション紹介

訪問看護ステーション 看護課長 牛尾佐織

訪問看護ステーションが開設され13年が経過しました。現在は、看護師（非常勤含む）7名、セラピスト（曜日日に制約あり）3名、事務員1名で療養生活をサポートしています。『地域と連携し、安心の在宅療養生活を支援します』を理念に、利用者さんやご家族に寄り添いながらスタッフが丁寧なケアを行っています。

訪問看護って何？

病気や障害があっても住み慣れた家で、地域の中で暮らし続けたいと願う方々の自宅に看護師等が訪問します。かかりつけ医の指示のもと連携しながら、本人とご家族が安心して過ごせるように、看護やリハビリテーションを提供し療養生活を支援します。

利用者さん、ご家族の思いを聞きながら、健康状態の悪化防止や回復に向けてお手伝いしています。また、希望された方には、24時間の対応も行っています。入院時には、病院に在宅療養時の状況報告をおこない、退院時にはカンファレンスへ参加することで、病院と自宅での療養の切れ目のないケア提供を行うために情報共有をしています。また、その人らしい療養生活が送られるように、在宅療養に関わる多職種の関係者と連携を密にして対応しています。

訪問看護サービスの特徴と内容

- 自宅への退院を支援します
- 介護予防や機能回復のお手伝いをします
- 緊急の場合にも対応します
- 安らかな最期・ターミナル期を支えます

一人ひとりにあったケア

当ステーションは、固定チーム制を取り入れています。看護師が利用者さんご家族の希望を聞き利用者さんに合ったケアプランを立案しています。ケア方法、内服薬の管理、創部の処置、物品の位置など細かく記載した手順書にて、どの看護師が訪問しても同じケアがスムーズに行えるようにしています。訪問後はスタッフ間でカンファレンスを日々行い、より良い在宅療養ができるように心掛けています。また、療養生活が安心して過ごせるように必要に応じて、パンフレットを用いて分かりやすく説明するなど、一人ひとり、その時々にあったケアを今後も継続していきたいと思えます。



ご質問・お問い合わせは

市立加西病院訪問看護ステーション
(市立加西病院1階 整形外科前)

0790-42-5325



お気軽に
ご相談ください

情報トピックス



新病院建設に向けた取組状況報告

病院事務局長 上坂 寿人

新病院建設に向けた基本的な方向性や計画の議論が今年の1月から始まっています。新病院の検討委員会は、委員長に加古川市民病院機構理事長、副委員長に加西商工会議所会頭、委員には、神戸大学医学部附属病院長、北播磨総合医療センター病院長、兵庫県北播磨県民局加東健康福祉事務所長、加西市医師会顧問、病院サポーターの会副会長、加西市副市長からなる院外の委員で構成されています。これまでの3回の検討委員会では、新病院の方針や医療提供体制、用地取得の状況、医師確保に向けた施策、病床規模等について、活発な議論が行われました。今後は本年12月をめどに基本構想基本計画をまとめ、市民の皆様に公表していく次第です。これまでの主な審議の経過は次の通りです。

1. 新病院将来方針と医療提供体制

- 地域包括ケアシステムにおいて加西市の中心的な役割を果たし、加西市民から医療・保健全般で信頼される地域多機能型病院を目指します。
- 当院周辺の将来医療需要に合わせた病床規模を整備し、北播磨医療圏域における役割分担を図り、急性期病床を一定維持しつつ、不足している回復期病床を充実させます。

2. 建設予定地について

加西市豊倉町（約4.3畝）を予定。現病院から3km（市内のどこからでもアクセスしやすい、交通の利便性を重視）

3. 医師確保に向けた検討

神戸大学医学部附属病院や北播磨総合医療センターからの常勤医師派遣が厳しい現状が示されましたが、引き続き、これら基幹病院等との連携を継続していくとともに、市が実施している医師奨学金制度のPR強化や、地域医療を目指す医師への情報提供、募集に向けたPRに注力していくなど対策を図ります。

4. 病床規模の検討

健全経営・採算性の観点、北播磨医療圏域における必要病床機能・規模の観点、院内体制として実現可能かどうかの観点から新病院の規模の検討を行っています。



新病院建設予定地（JA みらい本店東側）



オンライン診療実証事業のご紹介

医療介護総合支援センター 地域医療室長 神田 綾

オンライン診療とは、スマートフォンやタブレット・パソコンなどを使って、自宅等にいながら医師の診察や薬の処方を受けることができる診療です。当院は、2024年2月オンライン診療を活用した実証事業に参加し、かかりつけ患者3名の方にオンライン診療を体験して頂きました。

《オンライン診療の流れ》

患者さんの自宅もしくは療養されている施設に、オンライン診療設備の整ったワゴン車で看護師が伺いました。ワゴン車には病院の医師とテレビ通話を行うための大きなテレビとベッドにも変更できるソファが設置しており、患者さんが乗り降りしやすいように、車椅子のまま乗車できるリフトが備わっていました。患者さん・ご家族にワゴン車に乗車してもらい、加西病院にいる医師とテレビ通話で診察を行いました。通信トラブルもなく、スムーズに診察を行うことができました。

《患者さんご家族からのご意見》

大きなテレビ画面を利用してのテレビ通話であり、「先生の顔もよく見えて、対面の診察とかわらず話げができた。」との感想を頂きました。

また、外来受診に行くためには、タクシーやご家族の搬送介助が必要となります。オンライン診療では自宅や施設で待つことができ、時間を有効活用できたという良い評価を頂きました。実施後のアンケート結果では、「今後もオンライン診療を受けたいですか？」の質問に3名とも『はい』と回答を頂きました。

《課題と今後の展望》

当市でも、高齢者世帯や独居の方が増え、病院への通院が大変になってきている方もみられています。電車やバスなどの公共交通機関に限りがあり、高齢者の増加や医師の減少等、地域医療体制に係る課題は年々深刻化しています。今回のオンライン実証事業の参加で得た患者さん・ご家族のご意見を参考に、オンライン診療については医療選択肢の1つとして、今後検討を重ねたいと考えています。



加西病院サポーターの会だより



令和4年度決算報告書 R.4.10.1~R5.3.31	
収入金額	1,045,770 円
前年度繰越金	616,763 円
会費 (@500×158人)	79,000 円
賛助会員 (@10,000×35社)	350,000 円
寄付金	0 円
利息	7 円
支出金額	256,003 円
事務費 (郵送料 外)	10,880 円
総会費	17,640 円
事業費 (年末年始勤務医師 慰労訪問活動 外)	227,483 円
次年度へ繰越金	789,767 円

令和5年度予算書 R.5.10.1~R6.9.30	
収入金額	1,291,000 円
前年度繰越金	789,767 円
会費 (@500×180人)	90,000 円
賛助会費 (@10,000×35社)	350,000 円
負担金 (事業参加者自己負担金)	60,000 円
寄付金	1,000 円
利息	233 円
支出金額	1,291,000 円
事務費	50,000 円
総会費	80,000 円
事業費	480,000 円
予備費・他	681,000 円

※監査報告「令和4年度会計決算について、関係帳簿等を厳正に監査した結果、適正に処理されていたことを認めます。」
 監査日：令和5年10月13日 監査委員：長田達子・田中俊宏

本会の令和5年度定期総会を令和5年10月19日 加西市健康福祉会館研修室②で開催し、議案について全て原案どおり可決いたしました。その内容についてお知らせします

令和4年度 事業報告

(令和4年10月1日~令和5年9月30日)

令和4年	理事会	随時
	毎月番で病院花壇の水やり：毎日	年間
	社会保険労務士による無料相談 毎月：第2、第4週水曜日の午前中	社会保険労務士2名(年間)
10.13	令和3年度会計監査	長田・田中監事
10.14	花づくりボランティア作業 加西病院玄関、野外リハビリ庭園の植栽	10人「ピオラ・アリッサム・金魚草」
10.25	4年度サポーターの会総会 会員研修会「認知症の予防と治療について」 講師 市立加西病院精神科 久保田 康愛先生	地域交流センター多目的ホール
11.18	「サポーターの会だより」新年号編集会議	広報委員5人 吉田・熊谷
12.17	病院託児所 Xmas会慰問(お菓子セット)	理事5人
12.28	病院年末感謝慰問 お礼メッセージと差入	理事5人・病院長 他
令和5年	3.27 高見忍氏より車椅子の寄贈	理事14人
4.28	加西病院花植栽 春の花植え	理事8人
5.10	フラワーセンター花ボランティア 土づくり	理事7人
5.11	// ポット上げ	理事8人
5.25	加西病院夏の花の植栽	理事16人
6.30	加西病院訪問 新病院の建設について(病院長・局長面接)	吉田・熊谷
7.31	病院職員と理事との意見交換	病院側13人 理事側13人
8.28	病院盛夏慰問 お礼のメッセージと「加西ぶどう」の差し入れ	
9.13	病院花壇植栽(葉ボタン)	理事8人
9.27	フラワーセンター花ボランティア 土づくり	理事10人
9.28	// ポット上げ	理事6人

☆年間を通じての活動☆

- 花壇の水遣り 毎月当番制で水やり当番：毎日
- 社会保険労務士による無料相談 毎月 第2週と第4週の水曜日の午前中
- 「加西病院サポーターの会だより」発行 1月・8月 年2回 加西市内全戸配布
- 病院中央玄関での介助ボランティア 中央玄関での解除ボランティアは「新型コロナウイルス」に対する非常事態宣言下で活動休止





会長挨拶

新病院の建設に向けて

1974年開院依頼、加西病院は、昭和、平成、令和と長きにわたり市民の健康と命を守る砦として大きな役割を果たしてきました。

築約50年が経過し、新病院は、現地から別の場所へ移転し建て替えられることになりました。新病院周辺には、開業医や商業施設、住宅団地などを整備する「メディカルタウン」構想に基づき、産婦人科などの開業医の誘致のほか、進入道路確保のため、周辺道路を拡幅する計画があります。

このような中、市議会3月定例会において、院長より常勤医が4月から7人減り26人になるとの報告がなされました。県などがまとめた北播磨圏域の地域医療構想によると加西病院は30年度までに病床数は現在の199床から減少することが決まっており、新病院は現病院よりサイズダウンします。

新病院の建設は、加西市にとって大事業です。厳しい医療環境ですが、「患者にとっては頼れる病院、医療者にとっては勤めたいと思う病院」の実現をめざしましょう。

サポーターの会は、今後も、精一杯の応援を続けていきたいと思っています。

皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

令和5年度 活動計画

(令和5年10月1日～令和6年9月30日)

随時	定例理事会
年間	地区当番による「花の水やり」
年間	社会保険労務士による無料相談 毎月 第2週、第4週、水曜日午前中
令和5年10.19	「令和5年度 総会」アスティアかさい 多目的ホール 「会員研修会」(医学講座) テーマ「運動器の障害について」講師 加西病院副院長 箱木知也先生
11.	加西病院花の植栽
12.23	院内託児所 Xmas クリスマス慰問
28	年末加西病院職員に向けて感謝の訪問
令和6年 1.	加西病院サポーターの会だより発行
2.22	サポーターの会と市議会「新病院建設特別委員会」との懇談会
4.25	春の花植栽
5.8~9	フラワーセンター花ボランティア：2日間
5.23	夏の花植栽
7.	加西病院だより7月号発行
8.	病院職員へ盛夏お見舞いと感謝訪問、加西ブドウ差し入れ
9.	「病院職員&サポーター会員交流会」



- 随時 ・医学講座開催 「新型コロナウイルス感染症」の収束状況により計画
- 随時 ・会員拡大に向けて活動(一般会員、賛助会員)
- ・医師招聘活動への協力



市立加西病院 外来診察担当表

(令和6年5月10日現在)

診療科	診察室	月	火	水	木	金	備考	
内科	初診	8	※ 山谷	※ 杉江	※ 北嶋	※ 小林 ^征	北播磨	●金曜日8診の北播磨Drの診察は9:30~となります。 ●金曜日17診の石井Drの診察は10:00~となります。 ●糖尿病看護外来とフットケア外来は火・木曜日の予約制です。 ●火曜日26診の七星Drは午後に睡眠時無呼吸症候群外来を行っています。 ●水曜日神戸大学は第1米原Dr 第2岩井Dr 第3中西Dr 第4村上Dr 第5交代で診察となります。
	初再診	7	※ 破磯川	※ 北嶋	※ 杉江	※ 七星	※ 北嶋	
	予約診	6	稲垣 (消化)	山谷 (内分泌・代謝)	午前 神戸大学 午後 神戸大学 (ペースメーカー)	山谷 (糖尿病)	戸田	
		5	町口 (腎臓)		小林 ^征 (心臓)	蓬萊 (肝臓)	坂田	
		26		午後 七星	桂田直 (呼吸)		羽間 (呼吸)	
		17					石井 (血液)	
地域医療室	人間ドック	30		井上 広	石井	井上 広	山谷	
脳科内経神 (完全予約制)	予約診	35	森本 耕	芦崎	的場			●完全予約制です。 ●ボツリヌス注射は月曜日予約制です。
外科		18	※ 生田		※ 生田		※ 生田	●ストーマ外来は第3木曜日の予約制です。 ●リンパ浮腫外来は火曜日・午後と水曜日・午前の予約制です。
整形外科	初診	21	箱木	交代で診察	岩谷	横田	※ 飛田	
	再診	22	※ 岩谷		※ 箱木	※ 飛田	※ 横田	
		23	※ 飛田		※ 山下	※ 箱木	※ 岩谷	
耳鼻咽喉科		1	堅田	堅田	堅田	神戸大学	堅田	●幼児・小中高校生の再診を水曜日の午後に行っています。(学童外来) ●木曜日午後からは手術日となります。 ●嚥下機能評価外来は火曜日・金曜日14:00の予約制です。
				嚥下機能評価外来 (14:00)	学童外来 (午後)	手術日 (午後)	嚥下機能評価外来 (14:00)	
精神科 (完全予約制)	予約診 (午前)	1	久保田	久保田	國廣	久保田	第1・3・5 長谷川 第2・4 塚本	●完全予約制です。 ●認知症の鑑別診断や認知症自動車運転の診断書に関しては、地域医療室を通して、ご相談ください。 ●現在、初診は受付不可です。
	予約診 (午後)		久保田					
産婦人科	午前 初再診	13				※ 益子		●母乳外来は電話でご相談ください。 ●受付時間は10:30までとなります
	午後 予約診							
小児科	午前 初再診	10				※ 野津 (夜尿・腎臓病)		●木曜日・金曜日両日も予防接種は予約制です。 ●金曜日午後の初再診は前もって電話にてご確認ください。
	午後 予約診						※ 水戸 (慢性疾患)	
眼科	初再診 (9:00~11:00)	25(1)	※ 濱田	※ 坂井	※ 濱田	※ 濱田	※ 坂井	●外来の受付時間は11:00までとなります。 ●コンタクト外来は第2水曜日午前予約制です。
		25(2)	※ 渡部	※ 渡部	※ 渡部	※ 渡部	※ 濱田	
泌尿器科		11	※ 平田					
皮膚科	初再診	2	※ 田中	※ 田中	※ 田中	※ 田中		
			※ 神戸大学 (午前)				※ 神戸大学 (午前)	
腫瘍外来	初再診	17			※ 佐々木 (放射線治療連携)			●佐々木Drの診察は9:00~10:30となります。 また、第3水曜日は休診です。
麻酔科	専門外来	16	林 (術前診/ハインリック) 魚住・森川 (術前診)			午前 魚住・林 (術前診)		

【受付時間】 ●初診受付 (午前8時30分~11時30分)
 ●再診受付 (午前8時00分~11時30分)
 ●予約診受付 (午前8時00分~17時00分)

受付窓口②へお越しください

- ・初めて加西病院を受診される方
- ・今回受診される科が初めての方
- ・または、1年以上診察を受けていない方
- ・診察券をお持ちでない方

- 診療科により、受付時間や休診日が異なる場合があります。
- ※は、予約の患者さまも含まれます。
- 診察券により再来受診機で受付を行ってください。(再来院・予約診の方も)